

2024年10月18日

玉島信用金庫

「ソーシャル企業認証制度（S 認証）」
“世のため人のため”に取り組む企業が認証されました（8 月分）

玉島信用金庫は、2024 年 4 月に連携協定を締結した一般社団法人ソーシャル企業認証機構が評価・認証している「ソーシャル企業認証制度（S 認証）」において、“世のため人のため”に取り組む企業の認証取得をサポートしております。

このたび、同機構において、当金庫取引先である 1 社が認証されたことをお知らせいたします。認証を受けた企業は以下のとおりです。また、認証を取得した企業を訪問し、認証状を授与いたしました。

なお、認証企業数は、2024 年 9 月末時点の累計で当金庫取引先では 5 社、機構全体では 1,193 社となりました。

【認証企業】



大和被服株式会社

※敬称略

大和被服株式会社さまは、縫製業を営んでおり、西日本を中心とした警察や消防の制服の製造が主力事業となっております。取引先である岡山市消防局さまより、毎年廃棄される消防服が 500 着以上あるという現状を聞き、廃棄される消防服を再利用した商品の開発に取り組むことを決意されました。

まず、社内コンペにて 20 を超えるアイデアから、地域の防災を担う消防士が着用している防火服が再利用され、子どもを守る製品へと変わる意義深さと、使用されている生地の特徴を最大限に活かせることから、防災頭巾というアイデアを採用。この防災頭巾については、地域の防災意識向上と廃棄される消防服の再利用に係る取組を発信することで、地域貢献の一助となるべく、2021 年 9 月に岡山市消防局と協働で、岡山県内の小学校へ 100 枚を寄付され、2023 年 11 月には鳥取県東部広域行政組合と協働で鳥取県内の養護学校へ 15 枚を寄付されました。

防災頭巾の取組については反響が大きく、昨年度からは、これまでの防災頭巾だけでな



く、トートバッグやレジャーシート等に加工し販売する事業を新たに開始。防火服は、熱に強く傷が付きにくい「アラミド繊維」を使用した生地が特徴です。その耐久性に着目した製品を開発し、オリジナルブランド「Returbull（リターブル）」として、自社 EC サイトで販売されております。

当初、防火服の回収先は、岡山市と津山圏域の 2 拠点だけでしたが、当社の取組に賛同いただける関係者が増え、現在では倉敷市、玉野市、井原地区、鳥取県東部広域行政管理組合が加わり、6 拠点に拡大。回収する消防服の種類についても、防火服 1 種類のみであったのに対し、レスキュー隊が使用するストレッチ性のある救助服、普段着として着用する活動服も含めた 3 種類となりました。その結果、消防服の回収量は前年度の 100 着から現時点で 450 着に増加。商品開発チーム 3 名による製造から、4 月からは製造ラインに従事する従業員の大半が関わる量産体制へと。商品ラインナップについては、9 品目から 15 品目に拡充されております。今後、商品開発だけでなく新たな回収先の開拓も続け、製造量を徐々に増やしていきたいと考えられています。

今後、一般社団法人ソーシャル企業認証機構（<https://besocial.jp>※）および当金庫のホームページにおいて、認証企業各社をご紹介していく予定となっております。

※リンク先の情報につきましては、ご利用者自身の責任の上でご利用ください。

以 上

本件に関するお問い合わせ先（TEL 086-526-1355）

ソリューション部

中嶋、松尾